

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の原子炉施設（STACY（定常臨界実験装置）施設）の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング（25）

2. 日時：令和5年12月7日（木）16時00分～18時13分

3. 場所：原子力規制庁10階南会議室（TV会議により実施）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

荒川安全管理調査官、伊藤主任安全審査官、島村主任安全審査官、
澁谷安全審査専門職、安澤技術参与、三好技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所 臨界ホット試験技術部 次長 他3名

安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部

施設保安管理課 主査 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

資料1：STACY施設設工認（実験用装荷物の製作及びデブリ模擬炉心の新設）

コメント回答（ST-25-1）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、では今から技術の炉心に関するヒアリングを始めます。
0:00:07	前回補正を考えて、ということでお伺いしましたので元の去年の11月の、
0:00:15	申請書を我々が改めて理解して、こういう情報の、
0:00:22	追加が必要ではないかということについて、
0:00:26	項目を幾つかお伝えしましたけども、
0:00:31	早速、早い段階でそれに対する回答をお送りくださいますとありがとうございます。
0:00:39	多くのコメントは、審査書の執筆にあたって、追加で必要だと思われる情報について、
0:00:50	こういうことが入って必要ではないかということで、お話ししたんですけども、一番今回の資料の一番最初に来てですね。
0:00:58	第十条の要求事項に対する書き上げというところについては、考え方を説明してください。
0:01:08	というお願いになっておりますので、この部分が一番、
0:01:12	今日のヒアリングの中で、重要な点というふうに認識しております。
0:01:20	画面の奥の方ですね、今日は技術参与の安澤さんに、
0:01:28	座っていただいておりますけれども、試験の班で審査書が、
0:01:34	仕上がってきたところで、いつもレビューをお願いしている方です。今日は上の考え方について説明があるところから、
0:01:45	直接聞いてくださいということで、出席をお願いしております。
0:01:50	ではコメント回答の1個ずつ順番にお伺いしたいと思いますので、まず、1、ナンバー1についての説明をお願いいたします。
0:02:02	はい、原子力機構の矢崎から説明いたします。まず込みふ
0:02:07	すいません、所長がすいません画面共有いたします。はい、お願いします。
0:02:19	泉田根岸です。
0:02:28	資料22551の2ページになります。
0:02:36	先ほど冒頭でちょっと話ありましたが十条に関して、
0:02:40	国産労働安全に制御できること反応度安定的に制御できること反応度を制御することにより、原子核分裂の連鎖反応を制御できる能力を有すること。その三つにですね、それぞれどのように、
0:02:54	適合性を説明することというコメントを受けましたそれについて回答いたします。
0:03:00	研専の部分ですね、ここに今補正を考えている文章を記載しております。第1段落のところですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:08	通信施設は通常運転時において、注水系の流量制限によって反応度添加率に係る核的制限値を満足するようにすることで、反応度を安定的に制御できる設計となっている。
0:03:21	また、安全法系及び計測制御系のプロセス計装設備による、
0:03:28	炉心の水位制限によって、過剰反応度に係る核的制限値を満足するようにすることで、反応度安全に、
0:03:36	定義をすることができる設計となっている。
0:03:38	さらに、通常運転時及び運転時の異常な過渡変化図において、給配水系及び原子炉停止系により原子炉を制御し、原子炉停止運用に係る核的制限値を満足するようにすることで、
0:03:53	核分裂の連鎖反応を制御できる能力を有する設計とアピールし、これらの設備。
0:04:00	により、原子炉施設の安全を確保する考え方は、近隣間の基本方針 1 と同様であるとしております。
0:04:07	もともとはずね、三つについてそれぞれ、一つずつ開いてなかったんですが今回コメントを受けまして、安全に制御できることを安定的に制御できることとあと、削減率の図、
0:04:20	差反応を制御できる能力を有すること。この三つをはずねそれぞれ、このように書きました。
0:04:26	コメント 1 に対する回答は以上です。
0:04:30	はい、ありがとうございました。規制庁の渋谷ですけれども、そうすると、キーワード安定の方については、流量制限であると。
0:04:40	安全の方については、水位制限であると。そういうふうに、
0:04:46	分類というか、
0:04:48	空き家等を行ったという、そういう理解でよろしいでしょうか。
0:04:52	北井原子力機構の新垣ですも理解の通りです。はい、ありがとうございます。ちょっと端的に書かれてるので、もうちょっとその考えをまとめた過程というかです。
0:05:06	もう少し肉付けをして説明していただきたいんですけども、流量制限の方が安定的で、水性の方が安全の方と、
0:05:19	ということについてももう少し詳しくお願いいたします。
0:05:29	はい西尾菊川です。それに関しましてはナンバーツーの方でご説明したけ、内容を南波 12 という室長の南波涌井、天田山下ナンバーツーも一緒に説明した方が説明しやすいということで、
0:05:44	わかりましたじゃあすいませんリストに合わせてご説明いただければと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:51	設定に出席者があるわけです。松江につきましてコメント内容としての給水系設置と、災害給水制限水位が作動した場合、給水流量計がステージを超えた場合について説明することと。
0:06:04	それぞれについてまとめております。まず給水系スイッチですが、給水中に給水、
0:06:11	停止スイッチが吹鳴を検知すると反応度添加停止インターロックが作動します。
0:06:15	給水系の吐出弁及び流量調整弁が閉になって給水が停止します。
0:06:21	でも給水系スイッチを超えて給水が継続した場合ですが、その情報にある排水海水地下水水面を検知して、排水開始インターロックが作動。
0:06:32	金属排水弁及び通常排水弁が開となって炉心タンクから系水が排出されるという譲歩します。続きまして、祭礼給水制限スイッチです。
0:06:44	こちらの給水停止スイッチを排水開スイッチを超えて給水が継続された場合、最大給水制限スイッチが吹鳴を検知すると、直ちに原子炉がスクラムします。
0:06:55	睡眠検知から 1.5 秒以内安全番が挿入されるとともに同じく水面見地から 1 両年休息排水弁が開となって炉心タンクの、
0:07:05	形成が排水性節。三目、給水流量計が正値を超えた場合です。
0:07:12	下水流量高の警報は反応度添加率 3%/sec。
0:07:17	または新宅水上昇速度 1mm/secに相当する流量以下に設定します。
0:07:25	形成量が設定値を超えた場合に警報が発報し、それに気づいた運転員が給水ポンプを停止させます。
0:07:32	なお書きですがその後も流量異常が解消されず、反応度添加し続け、核計装の炉周期間が、
0:07:40	20 秒以下になったら、同様以下になるとすれば、します。
0:07:45	鷲見千野基金に関する説明以上となります。
0:07:50	田井原子力大岩です。要するにこのナンバーツのよう、各機器が動作をして安全安定を守っているということですね、機器ではなく、形のレベルに上げて書いたのがナンバー1、2 ページ目の文章ということになります。従って
0:08:08	難波市野会長の裏にはこのようなシステムが動いているということになりますし、
0:08:16	はい、ありがとうございます。
0:08:18	もう少しお伺いしたんですけどもシブヤですけども、安定と安全ってのはすごい言葉として見ていて、
0:08:26	どっちがどっちなんだっていうのはあると思うんですけども。
0:08:31	やっぱりこっちが安定的でこっちが安全だっていうところをもうちょっとお伺いしたいなと思っていてそれはなぜかっていうと、私がですね、既存の申請書とか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:44	資料 4 で 3 名、私は使われればですね、作ったストーリーはちょっとあまり、少し実際の申請者の方から外したのとは、やっぱりちょっと違った、強いのでやっぱり確認してよかったと思ってるんですけど。
0:08:59	我々がちょっとわかってない。勝手に考えて、こういうかなっていう予想してたのは、
0:09:05	やっぱり重要性検討、強い制限は必要なので、そっちが安定的で、その流量制限と、増井政権が破れてしまった場合に、働く部分っていうかですかね、そのナンバーツーに書いてある方が、
0:09:21	安全なのかなあとそういうふうに勝手に考えてですね、書いてたんですけども。
0:09:28	やっぱり今回ちょっと流量制限の方が安定的で、
0:09:35	杉さんの方が、過剰反応度に関する方があっせんした数字ということで、もちろん
0:09:44	正解っていうのは多分ないと思まして一貫した説明をお伺いして、我々がそれに納得して、審査書に落とし込んでいくっていうさうい、
0:09:56	調節がこの映像はかなり仕上がった段階において必要なと思ってるので、
0:10:03	ちょっと何かその辺の補足を安定提案全部言葉に対する、この抜粋ですかね。
0:10:13	そこを、
0:10:15	麻生榊っていうところを、
0:10:17	お伺いしたんですけども。
0:10:23	はい原子カイザワです。安定と安全が押せ中を分けられるというよりは、あまりかっちり、これが甲と分けられ、
0:10:36	綺麗にくっきり分かれるものではないかなと思っております。
0:10:41	従って我々の書き方を一つの考え方我々の申請者側の考え方を示し、案。
0:10:52	すいません。二つで繋がっておりますし。はい。
0:10:55	どちらが正しい、間違っているということではないんですけども、その肉付けというのは、具体的にどのようなイメージでおっしゃられて、我々がとりあえずどう書き分けてくださいっていうから、
0:11:12	ちょっと頑張って、本来、不可分というかこういったみたいなイメージがあるところを、こういう、
0:11:23	書き分けをしてくださったのかもしれませんが、その際の考え方っていうかですね。
0:11:31	だから、そこをそこが聞きたいっていうことなんですけど。
0:11:35	はい。
0:11:41	ええ。だから逆ってことはないわけですよ。はい。はい。流量制限の方がある程度、例えばですね、病状制限の方が安全で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:53	水制限の方が、安定とかですね、そうそういう考えには絶対いかないわけですよ。
0:12:00	ちょっと。
0:12:01	これはこれでこんな関係を例えば逆にしちゃうようになってことは、やっぱりないですよ。原子力機構の佐野でございます。やはり日本語の意味としても、安全と安定的は、
0:12:19	私どもが整理した内容になるというふうに考えています。安定的というのはやはり一定状態で、
0:12:30	その中に安全という意味も一部含まれますけれども、一定のというニュアンスがありますので、それはやはり流量ですね、反応度添加率に関する流量というふうに考えます。
0:12:44	それが安全というのは、危険の反対側なので、安全であるということは、すなわちいろいろな安全保護動作が移るから安全だと。
0:12:55	そういう整理で私たちは、土肥市に対して、整理したものでございます。
0:13:02	上、先ほど一井井沢も申しましたけれども、安全かつ安定的にというのは、どちらも、
0:13:13	相互に
0:13:16	働いて進まそれで実現するようなどころでもありますので、本来を分ける必要はないかと考えておりますが、あえて分割するとすれば、当市の回答になるというのが、原子力機構の整理でございます。
0:13:31	はい、磯野さんありがとうございます指導ですけども。
0:13:34	なるほど。小木曾どんどん足していくと、高水位が変わるんだけど、その水量、
0:13:42	はは速度はずっといってということで、
0:13:47	用水の方、給水の流量の方が、1案一定安定のイメージがあると。
0:13:54	はい。はい。現状気候そうです。もう少しわかりやすく説明いたしますと、安定的にというのはやはり時間の概念がありますので、
0:14:07	やはり反応度添加率に代表される、その時間変化を意識したものだ、と、理解しています。他方安全については、やはりその限界値に関係するところなので、最大過剰反応度ですとか、
0:14:24	そういった低減量で、カーブに制限すると、そういうふうなやり方であれば、イメージが付きやすいんじゃないかと、そういう想像しますが、いかがでしょうか。はい。議長柴田さんありがとうございます。
0:14:37	時間の概念があるということですね。
0:14:41	私にですね、発電所で言うと、多分この時間の限りも多分長いこと言っているんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:49	燃料がだんだん減ってきますので。うん。だから
0:14:55	制度法の、並木佐瀬を調整して、その出力を一定に保つとかですね。
0:15:03	だからそういうことを、
0:15:05	軽水炉ではおそらく言っていて、なので訂正には当然そういう先はまだ概念はないんですけども、わかって、
0:15:16	条文が要求している以上は、何か、
0:15:20	考える考えるっていうですかね、ステージに対して当てはまる場所をしっかりと適合性として説明する必要がある、
0:15:29	その中で
0:15:33	年齢が下手とかいう話に比べると、もうちょっと時間的な短い人ではありますけれども、この、
0:15:42	遊ぶ時間というですね、考え方というところで、この安定っていう言葉を解釈して下さったと。
0:15:51	いうことで一応なるほどというふうに思いましたけれども、他の方、いかがでしょうか。
0:16:00	規制庁の三好ですけど、ちょっと確認をしたいんですけども。
0:16:06	今回
0:16:09	木津。
0:16:09	JAの機関回答は、いわゆる流量とですね、設置を案、
0:16:18	或いは安全にっていう、
0:16:22	そういう形で対応してるように見えるんですけど、そういう趣旨なんでしょうか。
0:16:31	新保主幹原子力機構いかがです。はい。おっしゃる通りですね。特に海外給水制限スイッチ最終的には安全保護系で止めるというのは安全のものであると考えております。また、
0:16:45	反応増の、を加えるメインは給配水系と給水系ですけども、その中心計画はL反応度の、
0:16:56	ここを制限していることが、安定と、今回このように区分いたしました。
0:17:04	ちょっとそこですね思うのは、
0:17:08	安定的にっていうのは、発電の通りは例えば税の蓄積とかですね、或いは燃料ソース線の変化とかそういう関係でそれについてはSTACYは研究該当しないということでもいいんですけども。
0:17:25	安定的なっていう、いわゆる通常運転時、
0:17:30	については要するに 30 セントは、までの範囲で、
0:17:35	運転すると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:37	ですから、30 セントの範囲で、数を守ってる形で、安定的に運転できると、通常運転としてですね。
0:17:48	それを、異常な過渡とか、事故時とか、そういう形で、
0:17:59	その時に何を守らなきゃいけないかっていうと、いわゆる、海外過剰反応の 80 銭と。
0:18:08	宇井委員。
0:18:10	国に考えますと、いわゆる 30 セントを守る、或いは、
0:18:16	80 年度を守る、それが安定的な、或いは、
0:18:21	安心安全の条件だとするとですね。
0:18:25	それは、いわゆるスイッチと流量っていうのは、
0:18:31	両方に関係してるんじゃないかというふうにも思えるんですけど、そういうことではないんですか。
0:18:40	原子力、戸井田です。課長反応度、二段階ありますけれども、いずれも下二つが反応度これを超えてはいけないというのを定めておましてそれはやはり安全のために定めているのではないかと思います。それから安全のためですね、過剰反応度ここまでであると。
0:18:59	それ以上超えると、許可書の添 10 で評価した範囲を超えると、その制限をかけているのはやはり安全のためであろうと思いますんでその過剰反応度のところにたどり着くのに。
0:19:13	反応度を加える覆土ですね、反応度添加する率、これを制御しているのはやはり、安定に運転するためと考えました。商業炉の方ですね。
0:19:26	核分裂生成物のものとか、影響とかあとは燃料の年収の影響、これらを吸収して安定という概念であると。おっしゃられたのはなるほどと考えましたけど stage はご理解の通りそのような、
0:19:44	運転中の外乱はほぼ無視できるものでありますから、その安全を規定している反応度の上限に近づくために、
0:19:55	機の反応度添加率、これは安定のために低減しているものであろうというんで整理としては
0:20:05	よろしいんじゃないかと思いますがいかがでしょうか。ちょっと、もう少し。
0:20:11	私、あれとは違うんですね。要は、安定的にというのは当然、
0:20:20	何かここを確認した方がいいのかもしれませんが安定的にっていうのはいわゆる通常運転として安定。
0:20:27	関係的っていうのはその通常運転の範囲として、
0:20:31	運転できる。その条件は何かとで安全にというのは、仮に、
0:20:37	通常運転を超えたとしても、その最大課長半分の 0.8ドルで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:45	組み込まれると。
0:20:47	いう、そういう、その前提は、
0:20:52	が異なるってということなんですかね。要は私が言いたいのは、30 親等守るとい、 安定的な運転を担保すると。
0:21:02	そのためには、
0:21:04	敷地もありますけど、
0:21:07	流量も関係すると。
0:21:09	80 セントの最大過剰反応度を守る、安全に、守ると。
0:21:17	どちらが安全だっていう、そこは一致してると思うんですけど、それについても、過 剰反応度の最大化上はゴトウに相当するスイッチ等、
0:21:28	流量が、
0:21:30	相まって、
0:21:33	安全についていう、
0:21:35	ことも担保してるというふうに考えるんですけど、そこはそうではないってことなん ですか。
0:21:41	吉国議員。要は安定には関係するけども、安全には関係しないってところがち よつと。
0:21:48	よく理解できないんですけど。
0:21:52	原子力機構のソノです。このように整理すればいいのではないかということでお話 します。
0:22:00	安定的に運転するというのは当然通常運転でも安定的に運転しますし、それから 一、以上Gが
0:22:12	運転時の異常な過渡変化でも、安定かつ安定に制御しなきゃいけないんですけども、まずその反応度添加率が通常状態で 30 セント。
0:22:26	だとしてもですね、30 銭と一気に反応度添加率を加えてしまいますと、やはりそれ は私たち制御するのが不安になります。安定的に運転できません。
0:22:39	なので参戦とかsecという範囲内でゆっくり、反応度添加することで
0:22:46	安定的に運転ができることができます。そこはそこはいいんです。40 数とも部分 は、
0:22:53	給水停止といったところで守るわけですよ。
0:23:00	それは案内的な運転には寄与しないということになるんですが、
0:23:06	ちっちゃく前任通所、通常運転でも安全に運転するためにやっぱり 30 セントの範 囲内でしか制御しませんよということですね。安定ではなくて、安全に、通常運転 する。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:21	それ何かと言いますと、一般動で 60 キロに今制限しているっていうような場合でも、急加速とかはせずに、60 キロぐらいで運転していれば安全に運転できますよと。
0:23:37	いう、その安全の縛りではないかというふうに考えます。磯飯田です。先ほど三好さんがおっしゃられたその安定の方であって安全の方ではない時に、
0:23:48	されるのは気にかかるとおっしゃいましたけれども、ちょっと安全と安定を完全に独立した概念ではなくって最終的に求めるのは安全であって、
0:24:00	なぜ安定を求めるのかと言えばやはりそれは安全のためではないでしょうか。ちょっと、安定のためとしたものが、安全のためではなくなるという私もそれはちょっと違っていて、あえて言えばこうであると、分けましたけれども、
0:24:16	安定に区分したものをもう何のために安定を求めているのかとかそれは安全のためであろうと思います。ちょっと安全で安定に工夫したものが安全のためじゃないのかと言われると、
0:24:27	いや私どもCTOとしては、すべては安全のためにすで、安全の他名ですけども、中でも安定のために使われているものと言えば何かというと、
0:24:39	やはり反応度添加率ではないかなというところで今回区分したというものです。
0:24:46	安全のためのものでもあると思います。安定の安定のシステムも、
0:24:54	いやだからそこでそこはその安全と安定というのを厳格で開けるか、或いは安定的にというような安全、
0:25:03	ための一つも。
0:25:05	そうだと考えるかまずそのように思うんですけど、私は精査、先ほど言ったのは、30 セントっていうのは通常運転の範囲として設置を、
0:25:18	置いてるわけですよ。それは、
0:25:22	通常運転として 30 セント担保するそれ以上いくと、ペリオドが立ち上がるとかいろいろ運転の問題も出てくるので、通常状態の範囲としては 30 セント担保すると、いうことにしてるんだと思うんですけどね。その時の、
0:25:40	30 銭と担保する。
0:25:43	給水停止設置というのは、
0:25:46	安定的な運転に、
0:25:49	延期をすることは考えられないのかっていう、その部分もあるんですよ。算定人要するに考えられないだろう。
0:26:00	基本的には停止給排水系以外にも反応度を転化する要因がありますので、それらすべてを勘案しても、最大、最大の過剰反応度制限である 80 銭と決して超えないと、やはり今 83 とお話しするのは、30 銭。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:20	という値にしたかという、給排水以外の反応度減を考えたときでも、それらすべてを足しても 80 を超えない余裕を持って超えないというために、30 というのを、
0:26:32	があるのかなと思います。ただ
0:26:38	お話、
0:26:40	そういう観点から言うと 30 分また安全のために定めたものであるといえると思いますが、余計でしょうけどそれがやはり、
0:26:53	不可分なところがあるというすからこそ、それ以上分でも活で繋がっているんだと思うんですね。そこをあえて分割せよということでしたので、分割しましたけれども、
0:27:06	分割し切れない部分もあるのは事実ですのでね。
0:27:11	逆にその、その安定と安全を分割して審査書に書かないと。
0:27:18	いけないようなものなんでしょうか。市来仲野原子力飯田です。はい。何らかの定義でもって、分けられるのでしたら私も、
0:27:30	この定義によって区分することも全くやぶさかではないのですが、何、何らかの明確な定義が審査上の定義がございませうでしょうか。
0:27:42	吉井は、あればお示しいただければ私もそれに振ってるディックきちんと区分いたしますが、
0:27:50	系統集団ですけども、特にこういう区分というものは、
0:27:55	これは今ですね、再札の方を、本当に安定と安全に粥分けて書かないのかっていうことについては、我々の方で、この後また議論をしてですね。
0:28:11	そういう書き方も、それは個人としては、あるのではないかなっていう感じはいたしました。
0:28:19	はい。
0:28:20	はい。そうですね。はい。細野さんの所さん人の名前じゃないけどその基本方針の方の、
0:28:31	ソノさんの時の審査書は、書き分けたんですけども、それに絶対従わないといけなっていうことは、ちゃんとした説明があれば、
0:28:47	絶対そうしなきゃいけないってことはおそくないと思いますので、担当者として、表出方法もはあるかなっていうのをちょっとヒアリングで、感じたところです。
0:29:04	何か他のほかにどちらからだけスペースがこうで、安全に制御できる相当安定的に制御できるっていうのはですね、発電の場合に安定的に制御できるっていうのはですね。
0:29:22	出力の揺らぎ等があったとしてもですね、それ水準して 100%出力だったら 100%出力を 1 点保てるだけの。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:33	もうってということが安定的に制御できるってことです。それから安全に制御できるってのは大きな外乱があった時にですね。
0:29:43	現象を所定の範囲内で収めるようなその安全装置を持ってってことじゃないかと思うんですよね。はい。ですから
0:29:55	それで、STACYの場合安定的に制御できるって話に対して、既存のところの反応度添加率を一定程度以下に抑えておけば、
0:30:08	安定的にその出力上昇ができるってことを言いたいのかなっていうふうに私は理解したんですけど。
0:30:16	20分そうです。はい。椎野李か私たちの方に近いと思います。というのは先ほども
0:30:26	通常運転時で30セントに制限してるからじゃ安定的かと言いますと、先ほども申し上げた通り、急に30年度にするとですね、やはり案。
0:30:40	安全に運転できないし、安定的でもないかと思うんですよね。なので反応度添加月を、後ゆっくり添加するということで、
0:30:50	緩やかな変化で、安定的に運転できるという、そういう整理だったんですね。それで、30セントが50銭は23度だからいいとか、安定的になるわけでもないかと思っています。
0:31:07	薄Vessel上昇率が一定程度以下に抑えてるってことが言いたいわけですね。反応度投入事象的に急激に抜いてしまえば、安定的ではないということを使ったわけですね。
0:31:22	はい。はい。はい、そうなります。
0:31:27	はい。
0:31:29	よろしいですけどね。
0:31:35	9、9駅の方が、安定的な方にターン寄与してないというふうなことを言ってるつもりはないんですよ。ですから、
0:31:47	給水の、
0:31:50	上昇速度。
0:31:52	いわゆるRI法というのは、
0:31:54	通常運転時の30セントを担保するためにも、
0:32:03	寄与してるし、
0:32:08	300 過剰反応度 80%の方を、を担当するにも寄与していると、要するに、両方寄与してるというふうに思ってるんですけど、そこは一致してるんじゃないかと思うんです。先ほどいただいた
0:32:27	安定とは外乱に対応する能力のためのものであるとおっしゃられました。そうしますと、給配水系で転化できる反応度 30 セントに制限しているのは、実験層下部Ⅱ等の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:43	外乱グラフ等の外乱によって反応度が加わったとしても、
0:32:47	最大過剰反応超えないように低減するというそういうような定義にやはりある程度提示によりますので、いかに他社外乱に対応するという定義に、
0:33:01	いたします。そうしますと、
0:33:03	給水停止位置 30%に制限している。
0:33:09	もう安定と望んでもよろしいですが、ちょっと、やはり定義によって大分変わってくる。その通りでね。要するに、
0:33:19	安定的にっていうのは何をステージの売差すかということで、燃料組成とか、
0:33:27	安全だとかそういうことは関係ないと。そうすると、結局、何か例えば温度変化とかね。
0:33:36	そういう臨界装置で、
0:33:40	運転している状態で、何らかのそういう反応度的な変化が起きることに対して、
0:33:50	どういうふうに、
0:33:53	しておけば、
0:33:55	それに対応できると。それを安定的にというのであれば、
0:34:02	今、通常運転時の制限として設けている 30 セントっていうのは、
0:34:09	それーんが近い概念かなというふうには思える。
0:34:14	ですけど、
0:34:16	原子力に対する今おっしゃられたような温度の変化等のガイダンス停止については、本当に微小ですけども、これに関しては三瓶泊様でございます。安納線から、清志賀さん 1000 トン毎秒で、
0:34:29	操作できるように作られておまして、温度等の外乱による温度変化等の外乱による変化はそれに対して十分低いと。
0:34:39	ご説明は許可の時に差し上げております。おっしゃった外乱対応は 3、この反動低角%毎秒数ということになろうかなと思いますそれで
0:34:50	結構コントロールできるように、赤字は温度はそれで量的には賛成と/secの方で、
0:34:58	申し訳ないんですけど、例えばさっきちょっと話が出たね実験総額チューナー等で、
0:35:05	その移動だとか何とかで入る、或いは、最近議論している、挿入会の注水だとかね、そういったものも含めて、30 セントっていう、
0:35:18	一つの、それが性別制限になってるんだけども。はい。それは、
0:35:26	安全なのか安定なのか、安定的なのか、ちょっとその辺の議論になるかもしれないけども、そういったものは、
0:35:38	そういうものが入っているいろいろゴトウたら入ったとしても、30 セント以内であれば、
0:35:46	運転は当然継続できる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:50	っていうそういうことになるので、想定外には考えられないんですかね。今起こったような、
0:36:02	脱落というようなものが起こりましたら、これは運転継続はいたしませんけれども、ただしその反応度を添加したとしても、給配水系による反応度と加えて齊田伊井の過剰反応度は超えないと。
0:36:17	それはもう安全といえるんじゃないかなと思います。そうしますとちょっと大分はつきりして参りました。安定のために、STACYの微小な外乱については反応度添加率数を制限というか、その辺の転換率で本当にできるようにしていることで、
0:36:34	安定であるつまり缶の添加率については安定であって、さらに、想定される実験風化物等の脱落等ですね給排水以外の反応度減を考えても、
0:36:49	80%を超えないように、給排水の運転上の通常反応度添加を 30 センチに抑えているなき推定スイッチは安定に寄与するとして、
0:37:00	それはもうアンケーが破れたとしても、最大給付制限スイッチや給水系FujiiPublについてありー海水イトウスプリティングで、
0:37:12	それで止められるのが安全、含みました減少期間そうですが、その時に今、
0:37:20	通常運転時に、この実験法貨物が脱落するようなことを今、考えたんですけれども。
0:37:28	それはもうすでに安定な運転から逸脱した状態になるでしょうし、吉江だから、
0:37:36	その時 2、事業総括で脱落しても、それ安定的にはなくてやはり安全のためなんではないでしょうか。はい。そう。ちょっと前にも議論したけど、
0:37:51	いわゆるそういう間の、
0:37:54	注水と、あと実験物の脱落。
0:37:59	いう通りに入るものは、要するに 0.3 \$ 30 セント以下にすると、あと、休憩の方は 3
0:38:09	給水提出 1 で 30 セントまでしか入れられないので、はい。労働者相まって 0.6 \$ 60 セントで。
0:38:18	核的制限値 80 セント満足できる、そういうロジックになってるわけですよ。てことは、いいと思うんですけども、いろいろ説明を伺ったんだけど、
0:38:33	ずっと私が菅
0:38:38	ちょっと違和感というか、確認したかったのは、要するに、安定的なものは、給水、
0:38:45	リードだと、それから安全は給水流量と。
0:38:52	スイッチだっていうそういう説明が最初にされたと思うんですけど。
0:38:59	そういうそういうことなんですかね。原子力機構の宗ですが。
0:39:06	安定的には、注水制限によった流量制限による反応度添加率です。
0:39:16	それから、安全については、スイッチもそうなんですけれども、結局、過剰反応度で安全を担保する。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:26	この二つです。桑子主査、原子力井田です。ちょっとさらに整理が進んだと思えますけれども、安定というのは外乱に対応できる。
0:39:38	だけではなくって、発電炉の適用を考えますとそのガイドンを飲み込んで整理をして、運転を継続することができる、そういう能力があれば安定でございますね。
0:39:50	当市の場合には実験ソウカ物の脱落とか、或いは内挿管への浸水とか、有機性のことが起こりましたら、運転継続いたしませんで。
0:40:01	運転継続できないような事態がしゅつたいしたとしても、最大過剰反応度を超えないように、給水制限スイッチを 30 センチの位置に置いてある。これはすなわち安定のためじゃなくて、安全のためであろうと思います。伊賀迫の整理では、
0:40:19	規制庁半田ですけど、安定的っていうところに対してなんていうふうに言ったんですけどこれ
0:40:29	汎用保証なんかをするのに永久水流して炉心流量を変えたりですね或いは炉心のホウ酸水濃度を変えたりするっていうのが安定的っていうところ、それから微小な外乱的なもの微小ほんとに微小なもの。
0:40:49	これはこの安定的 2 繋がるんだらうと思うんですよ。ですから今言ったことについて私は理解します。はい、ありがとうございます。原子力機構の宗ですがはい。そういった意味では、もうすでに話が出てますけれども、STACYについては、燃料の消耗商品もありませんし、それから、
0:41:09	温度も 200 後ですから、温度上昇による反応度補償も不要ですし、いろんなところの、炉心条件というのは、運転によってほとんど変化ありませんので、
0:41:21	そもそもそういった外乱に対しての運転継続中の外乱に対しての保障というのは、不要であるという、原子炉でございますので、
0:41:32	その点については記者がなかったんですけども。はい。はい、家田です。ただ許可ではやはり運転中に想定される温度変化とか、そういうものに関して、
0:41:47	ステージがコントロールする能力として許可をいただいたパーセント内容に加えて十分小さいと言ってますんで、通常運転中想定される外乱に関しては給排水で十分整理できてその能力は 35 万以上と以下
0:42:05	ということで安定という。
0:42:10	評価でよろしいんでしょうか大分整理できたと思いますので、いたしますと、外乱に対応できるものだということを書きますかそれとも今の記載で十分読める感じでしょうか。
0:42:30	規制庁の三好ですけど、ちょっと今の議論はんですか、議論としての流れはわかるんですけど、そうすると、
0:42:42	ちょっともう一つあるのはね、30 センチっていうの通常運転の範囲として給排水系で、与えられる最大の反応度っていうふう決めてるわけですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:55	これは、安定的な点ということではないというふうにとらえているという、そういうことです。白木笠間ですが、
0:43:07	そのように、片方を立てて、片方は否定するというような考え方はございません。
0:43:18	案 3 安定安全のためのものだと言ったら、これは安定のためには役に立たないのかというと、そういう排他的なものではないという意味で優秀な社員。
0:43:30	結果的にね 30 セントっていうことを通常運転中す配水系で最大与えられる反応 6 社 30 セントとして、あと、別件、より上の赤沼理事高野。
0:43:42	範疇に入る。実験予想貨物可動装荷物とか、そういう海外の中性、それを足しても、コンマ 8 \$ を超えないと、それは安全上の、
0:43:56	そういったような方を含めた異常時でも、本町通りを超えませんかよと、次の運営で安全上の主に寄与してることとはわかるんだけども、これソノⅡ。
0:44:11	注水だとか、可動装荷物のそういった異常を、ちょっと置いておいて、通常運転時として、0.3 \$ というのを制限を加えているのは、
0:44:24	安全ではなくて、安定的な運転を担保するってという意味合いは、
0:44:31	あるのかないのか、そこなんですよね。原子力を開く許可上の古藤ロジックで考えますと、先ほどおっしゃられ、先ほどから議論の主軸になっております外乱に対応するという意味ですと、STACYI に対して、
0:44:47	そのような外乱運転中のガイドンが何%、例えば来て、それに対して 30 銭等あるからとか、30 セントまでに制限しているからというそういう議論はございませんでした。
0:44:59	従いましてそれに関しては、そういう論点で今 3 分に今まで言われてきたことはないと。その外乱中、運転中を外乱想定される外乱という、
0:45:11	考え方ですと、そういうに対してのっていうふうに限定できるかどうかってのはちょっと私も判断できないんですけども、いわゆるそういうね、他の、
0:45:25	本部長さんから、燃料組成だとかそういったものはもうあの時点のもう、もうちょっと置いておいて、臨界集合体の運転の、あれとして、
0:45:35	例えば整理スイッチ 30 セントっていうものをね、置かないと、安定的な運転が困難になるということであれば、
0:45:47	その 30 セントという、制限の安定的な運転に寄与している要素ではないのかっていう、私が議論したのはそのその部分なんですよ。
0:46:02	要するに、30 セント以上ね、もう、その制限加えないと。
0:46:09	例えばペリオドがドン立つわけだけど、そんな運転は、
0:46:16	運転員としても、
0:46:19	しにくいだろうし、安定的な操作ということに関して、
0:46:26	やはり一定の制限があると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:29	費用があるということであれば、その案、安定した反応度調整。
0:46:35	という意味で、安定的な運転中以外もあるのではないかというふうに思うんですけど、肥田です。これは地名の問題でございますので、他の原子炉、先ほど発電用原子炉で、
0:46:51	安定というのは燃料が消耗したりですねボロン濃度が変わったりとか、そういうバーナブルポイズン思えたりとかそういうものを、に対応できるのが安定とで、
0:47:03	もう一つ算定の意味として、今三好さんがおっしゃられたような、出力の上昇が早すぎる。
0:47:11	ちょうどいいといったような意味で安定というのが使われているかというですね、例えば発電用原子炉が0ワットから定格出力まで稼働をするときに、温度の上昇の速度とか案、
0:47:23	その反応度添加の覆土とかですね、出力の上昇速度には多分制限がかかっていると思います。当然、
0:47:30	発電用原子炉においてそれらの出力の速度上昇の速度を制限する要素を安定として扱っているのであれば、今皆さんおっしゃられたような区分で書けるかなと思います。私ども、
0:47:44	規制額の安定をどのようにとらえているのかということを確認になりましたらそれに沿ってロジック作りますので、発電会社では、その出力の上昇に関する制限を安定として扱っているよっっちゃうか、
0:48:01	あそこは見えてないね。それは安定ではなくて安全だということでしたら、安全ではないかと思うんですけども、出力上昇速度プロジェクトターンとか淡々とかっていう、
0:48:14	そこで決めてるんですね、それはどちらかっていうと安定よりも安全の方だろうと思うんですよ。原子力いただくと、私もそれは、出力上昇が早過ぎたらペリオド核計装がそれを止めるというのは、とても安全かなと思います。ぜひ逆にここで言ってる3番目のね、賛成と%。
0:48:37	secベストの流量、うじゅを出力上昇を行ってこれが安定なのかなというふうに私は思ったんですよ。はい。外団体減少引き出す外乱対応というは、
0:48:49	基線で見ますと私どもが安定に整備しました反応度添加率についても安全に入れてしまってよろしいかなと今感じますし。
0:49:02	安定の方に関しましては、STACYは運転中の外乱がほぼ想定されない原子炉であって、無理やり想定するような運動変化についても、無視できると許可に無視できる根拠を書いておりますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:18	停止については運転というのは特段あまり考慮するというか、特段何かハード的な考慮が必要な原子炉ではないということを説明して、不安全の方に上り送るということになりますでしょうか。
0:49:36	規制庁の江イシイですけどその3%/secっていうのがね、
0:49:41	うん。ヤードどちらに、この運営で決められてるのかっていうのはちょっと今はつきり答えられないんだけども。
0:49:49	要するに、一つはその3%/sec。
0:49:53	これはこれまでも臨界装置ほとんどがこの辺りを使ってるわけですけど。
0:49:59	一種、これを挙げて工期案と、最終的な、
0:50:09	添加反応度とは別に、日陰における要望が出たりするので、そういう黒須駅と関係した、あの辺りとしてせ、
0:50:19	この辺りは採用されてるというふうに理解をしてるんですけど。
0:50:28	あとは安全審査上は、この3%/secっていうのと、
0:50:33	あと
0:50:35	いわゆる、まず1の担保っていうことでね、関西でポンプが止まった後も、
0:50:45	一定のそのうつら主あそこで停止し、支援が出た後も、ある程度幹線完成で水量上昇しますから、それを、
0:50:56	それを考慮しても、
0:50:59	荷重反応度ん制限値を超えないというそういうところに、使われてる値なので、
0:51:08	そこは安全ちゅう要素が今そこにはあるっていうふうに思っはいるんですけどね。はい。飛田です。それでは大分整理できましたでしょうか発電用原子炉において早すぎるというような要素が安全という。
0:51:27	考え方でよろしいのでしたら、私ども反応度添加いつも安全にくらせていただきまして、STACYは運転中の外乱がきわめて、統合強いというかほぼ想定されない原子炉ですんで。
0:51:41	うん。
0:51:43	大宮さんなんて言わないでね揺らぎと言った方がいいんじゃないかとかんっていうのは、何かステップ状2が入るっていう、私イメージ受けちゃう。あ、失礼しました現象表現ありがとうございます。揺らぎというような答弁にしたいと思います。
0:52:02	原子力機構もそうですが、安全というくくりで一つしか記載しないっていうのも、それはそれで、法令条文に照らしてですね、安定的なのは、が、その揺らぎがないから必要ないって。
0:52:18	鶴の方、いやちょっと、言い過ぎのようなどころがあると感じています。というのは、やはり安全の安定的なです両方、一緒に
0:52:30	作業するようなどころがあるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:35	いやだからねちょっとそこで 44 ところで、発電の考えるような規制の調整だっっちゃうのはもうない、ないと、日本の変化は。
0:52:47	非常に小さいと、いうことでね、それはそれで、その辺の説明を作るんだと思うんですね、違うと、その安定的なっていうに対してどういう配慮は。
0:53:01	されてるのかっていう時に、
0:53:04	結局、私がお安定っていうかペリオド云々が安全だっていうふうに、2mだったと。そこは今、
0:53:16	即答できないんだけど、結局、
0:53:20	何て言うんすか、ある程度その 30 セントなり何なり、通常運転時等の範囲として半経過反応度を定めるっていうことは土曜日に、リールが立って、
0:53:31	フロア提出するようなことは避けたいっていうそういう設計思想は当然 10 分あるわけで。
0:53:40	そのためにその 30 セントっていう値が、いわゆる案、結果的に、2.8 度組合っていうそういう方安全に関する面ではなくて、
0:53:52	いわゆる安定要するようなその停止を、引き起こさないための制限だというふうにと考えると、安定。
0:54:03	いう的なという。すいません。ちょっとですね、規制庁側で少しちょっと安齊さんの時間もちょっと制限時間もありましてちょっと規制庁側で打ち合わせしたいので、
0:54:16	はい。ちょっと待ってって言って。うん。は廃棄はい。
0:54:20	STACYの方すいません再開時間あいよそれなのでそうです。でちょっとお待ちいたします。すいませんお願いします。いや、三好さんも入れないのか。
0:54:31	皆さんが、
0:54:36	DMでいいですよ。
0:54:57	もう、
1:03:58	私しましたシブヤですけれども。
1:04:01	安定と安全で、規制庁側でこう定義があるんですかっていうことについては私はそれは今度はないですっていう答えをしております。それに対して、
1:04:14	或いはヒントとして考えるヒントとして外乱っていう話が一つあったかと思えますけれども。
1:04:21	外乱と結びつけてですね安定と安全を説明すればそれでいいんですかっていうのはですねそういうのは、
1:04:30	ヒアリングで、もう決める内容では、さっきおっしゃった中で決めるものでもないです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:40	あとですね佐瀬選管会で戸谷審査会合が終わってんですけども、そっからですね、何か急に新しい概念が出てくると、サーバーの、これはどこでいっぱい入ってきたんですかっていう、やっぱりですね、話をしてしまいますので、
1:04:57	基本はですね、第3回の審査会合。
1:05:01	までに出てきてる情報で、当初申請からも変わらず、その前の基本炉心のソノさんの申請からも止まらず、
1:05:11	基本的に一貫した監査があるっていう、説明が必要ですその上で、考える上のヒントとして、
1:05:21	例えばゼノンの蓄積はステージでは問題にはならないとかっていうことは、許可にも書いてあったしその他にも書いてあっただろうし、アド街の温度分布ですねその偏りが正でこの程度だから、
1:05:35	今度は施設考えても、
1:05:40	それは0.3と比べて、十分、推進部だけで十分制御し得るだけの、
1:05:48	ものにすぎない。そういうのは元からあった考え方のはずですので、そういうのを今回の補正に反映していただいて、
1:05:58	安定安全の説明の補強に使っていただくということは可能だと思います。すみません。はい原子力委員会です。すみません。最初に、当初申請の文章のままとしてつとつというのを仮に判断して、考え方として、
1:06:17	新しく発生したものではないですよっていうことですね。はい。はい。はい。おっしゃる通りです。はい。第3回の考え方先ほどヒントをいただきました、考え方の通りですね、安定な制御と安全な制御を区分して書けると思いますし。はい。
1:06:38	とちょっと差0.3\$設置の話があったんでちょっとお伺いしたんですけども、それは、通常運転で使う、使うことを、一般的に想定している。
1:06:51	はい広木小枝です。30セントの亜急性ケース1は通常運転時に使用することを想定したものです。そこで止めようっていうのに使うわけですね。はい、おっしゃる通りです。わかりました。ありがとうございます。
1:07:09	あとスライドの3ページのコメントの2に書いてある内容っていうのは、一応、全体のヒアリングの回答として書いていらっしゃるんですけども、これは、
1:07:22	補正の方に内容として入ってくるっていうそういう理解でよろしいでしょうか。
1:07:27	これ説明だけ。
1:07:31	はい。関甲賀です。現時点においてはこのコメント回答この後説明資料にという考えでしたけれども、10条の適合性説明の方にここまで。
1:07:44	入れた方がよろしい。外科方がよろしいというかですね先ほど2ページ目だけで説明してくださいって言ったなら3ページの説明も一緒にしてくださいってことなのでそれで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:57	東西エアパージセットで、初めて説明として成立するものかなという部会なんですけどもいかがでしょうか。はい。原子力機構の伊澤です。理解いたしましたでは 10 条説明でこれらがわかるような記載を拡充と。
1:08:12	そういうことで理解いたしましたそうですね。ちょっと一つか参考になるかわかりませんが、私だと原価権だとですね。
1:08:21	処理場の方の炉審査でもかかわらせていただくんですけども、そのときに、火災の審査があって、
1:08:28	発生報知との間、管理消火と、影響拡大の 3 方策があるんですけども、さっき新規規制基準対応で、新しく要求されているのは、
1:08:39	感知消火だけなんですけども、結局 3 行先が相まって火災防護の考え方が成立するので、
1:08:47	とか
1:08:49	要するに適用長文じゃないところは説明しませんって言われちゃうと、結局全体が適正かどうか条文に変わってるかどうか判断できないんですね。なんでやっぱりですね、施設の設備についても、それと相まって、本来審査すべき条文が、
1:09:06	提供してるのがやっぱ説明できる場合はやっぱり説明いただく必要があるのかなということで、3 ページの内容もいるかなというふうに考えております。
1:09:17	はい原子力委員会です。承知いたしました。それでは 3 ページの内容についてより詳細に 2 ページの方に反映するというをしたいと思います。
1:09:28	よろしくお願いいたします。
1:09:31	はい、どうもありがとうございました。
1:09:36	あとですね、この給水の、先ほど集水であんまり早く一ないスピードで、土岐山木福地ということが、安定にとって不可欠だという、
1:09:51	広くお話があったかと思えますけども、それはやっぱり水反応度と相まって、その反応度の添加率というものが掛け算ですから、成り立つと思えますので、
1:10:06	ちょっと水反応度に関する考え方がこの流量制限のスキームにあった方がいいのかなと思うんですけどもそれはいかがでしょう。
1:10:17	はい。水木植田です。おっしゃる通り入江Gが関わってくるかと思えますので水反応度の件についても一言ファクトご存知したいと思います。
1:10:29	はいよろしくお願いいたします。
1:10:32	鳥羽シブヤ君、板野は以上ですけど他に何かございますでしょうか。
1:10:42	じゃあ、じゃあ、4、次のスライドの 4 ページ。
1:10:47	いただけますでしょうか。平沼説明続けさせていただきます。
1:10:52	はい。原子力機構新垣です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:55	コメントナンバースリーですが、中性子吸収材のものの添加の運用ですね、こちらのデブリの設工認にも記載することと、受けてます。回答としては以下の設計条件設計仕様のように補正を考えています。
1:11:12	まず設計条件ですが可溶性中性子吸収材は実験計画に応じて形成に転化することとし、軽水の使用温度範囲において積雪しないよう濃度管理をする。また、
1:11:24	多様性中性子吸収材を添加した軽水は反応度係数が正となる場合があることから使用する場合は核的制限値に関する、炉心特性範囲内に制限するとともに、津波し、水没時においても、未臨界性を確保できる安易に制限する。
1:11:40	続きまして設計仕様の方にはですね。
1:11:43	会話性中性子吸収材を使用する場合はゴーンガドリニウムその他の中性子吸収材形成に対し可溶性のものに限るを軽水に溶解させて使用する。
1:11:54	最大容量は常温の軽水に対する溶解度の2分の1以下とする。ただし可溶性中性子吸収材を2種類以上溶解させる場合は、各吸収材の溶解度5分の1以下、かつ、それらの吸収材。
1:12:08	それぞれの四街道に対する割合は2分の1以下とすると、さらに運転に先立ち、可溶性中性子吸収材は使用温度の範囲において析出しないこと、溶解試験により確認する。
1:12:21	また、可溶性中性子吸収材を添加した軽水を用いる場合は、運転に先立ち、
1:12:27	炉心の特性や炉心特性範囲内であることを、計算解析窓口食データにより国立、さらに指針への給水にあたってあらかじめ分析等によって、可溶性中性子吸収材の、
1:12:41	濃度が計画された通りであることを確認すると。以上について、現学園の保安規定に、その下部規定を含めて
1:12:50	それに定め手順すると、記載して補正をしようと考えております。これについては許可の方でもですね同様な方と書いておりまして許可と整合したものになっております。コメント3について説明以上です。はい、ありがとうございました。成長しますけどもこの点線が区内の2ヶ所が、
1:13:10	補正で追記されるとそういう理解でよろしいでしょうか。はい、原子力機構があるわけで理解の通りです。はい、わかりました。今、許可整合との話もありましたけども許可整合の説明のところも同様に追記されるという理解でよろしいでしょうか。
1:13:28	原子力機構があるわけです。その理解の通り許可整合の方にも、整合性を説明する資料を追加いたします。はい、わかりました。他に何か規制庁からコメントありましたらお願いいたします。
1:13:43	よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:46	では、特になければ次の、牧野であればまた後からお伺いしますけども、では、5ページのナンバー方についてご説明をお願いいたします。はい、原子力機構の有賀。
1:13:58	一井です。共振についてですね持久走貨物の共振で 20Hzを超えて心挙手しないという説明であればそれがわかるように記載することというコメントがありました。
1:14:09	これについて設計条件で二つですねこのように書きたいと思います。まず 1 番目が共振する恐れがないと、これは 20Hz以上であるため共振しないということを確認しているためそれを書きます。
1:14:21	二つ目については当初申請と変わりませんが、
1:14:24	京銀が超えないよう、
1:14:27	弾性状態にとどまるように耐震設計を行うと。これは当初と考え変わってません。コメント回答No.については以上となります。
1:14:35	はい。規制庁関谷です。ご説明ありがとうございました。
1:14:39	はい。これについては、前回のヒアリングでも、区一部確認させていただいておりまして特に内容変わってないかと思しますので、許可制ボートの、
1:14:52	打ち合わせも含めて、補正で記載いただくということになるかと思しますのでよろしくをお願いいたします。
1:14:59	規制庁なんか何かコメントございますでしょうか。
1:15:07	はい。なければ次、第 6 ページ、ナンバー5 について説明をお願いいたします。
1:15:14	定借期となることです。NOにつきまして技術基準 11 条の中でですね、レベル実験要素全部構造材模擬体の、
1:15:24	外観点検の頻度と点検内容を説明する、追記することとコメントありましたこちらについては、審査会合資料等、9 月 28 日の審査会合資料の、
1:15:36	220 ページにですね以下のように書いてあります。
1:15:40	東條となります。はい、ありがとうございます。成長していくようですけども。
1:15:46	等でグリーン茂木構造体と内挿管は、炉心装荷前、点検頻度の話ですけども、燃料使用相関については装荷前後及び保管中の定期的な保守というふうに、書き分けがありますけども、これはどういうことでしょうか教えてください。
1:16:07	はい飲食機構の新垣です。まず中に入れるものの違いが一つありまして、今回、デブリ構造材模擬体と内装か、対比比較してですね燃料試料挿入管というものは、非密封の放射性物質を内部に配布します。
1:16:22	それで取り出し後にですね、その被覆もバウンダリーが損傷していないとか、そういうのも確認する必要があります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:29	それで健全であれば、それを保管場所に持っていくというふうになりますそれに対して、取り構造材茂木田井と金井層からですね、炉心の装荷前に確認しておけば、次の使用の前に確認。
1:16:41	確認において、点検することで、その安全上問題がないということでそこは二つ分けております。
1:16:49	はい、規制庁シブヤですご説明ありがとうございました。放射能の有無という、違いますそういう理解でよろしいですか。
1:16:58	御社 9 人の赤木です理解の通りです。はい、わかりました他に質問がありましたらお願いします。
1:17:07	よろしいでしょうか。
1:17:10	はい。では次、7 ページの 9 番お願いします。はい、原子力機構の青木です。6、コメント 6 につきまして 21 条、技術基準 21 条に適合性ですが、
1:17:23	通常運転時運転時の異常な過渡変化設計基準事故時の環境条件において影響を受けない材料を用いると、
1:17:32	説明しておりました。それについて、
1:17:35	グッズ。
1:17:37	環境条件ですね事故時の最高出力とか最高温度と定量的に説明することということで、括弧書きの点線の通りですね補正を考えております。
1:17:48	重要なところとしましては、
1:17:51	今回ですね清CDA相当する最高使用圧力が静水頭 2.0 メートル程度です。使用温度についても最高で 80 度。
1:18:01	定取 200 ワットの出力でトーセイが井関さん出力 3 キロワットパー減と。そういう
1:18:09	発電炉とかと比較者も大分小さいような環境で使えます。それにも対応するような材料を用いるとして、まず第一段落が説明してます。
1:18:19	第 2 段落ではですね設置許可書ステージ上のパック変化の評価をしてましてその値をですね、引っ張ってきております。
1:18:29	その評価結果。
1:18:31	評価結果を踏まえるとですね、今回
1:18:35	用いる材料の中で一番、
1:18:39	融点が高いものがアルミニウム合金になっておりまして、それでも融点は 600 度程度です。
1:18:45	それでも最高使用温度である 80° より、
1:18:49	80 点ぐらいあれでその他ですね、アルミニウムの、
1:18:54	共同、これ 85° の時の強度ですが 55 名側、5MPaということで、発生する応力に対して、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:03	発生する伊田下野は十分な強度があつて、はい。材料に変形が生じることはない、そういうふうにならざるに記載しております。
1:19:10	最後の3段落目ですが、こちらは中性子の照射による脆化ですね、こちらについても文献を参考に
1:19:21	15万人、19乗程度超えてくるとですね、材料に脆化が生じる。
1:19:27	傾向が確認されるという、料金があまりましてそれと比較して今回、
1:19:33	中性子がどのくらいの中性子照射量かという10の15乗程度であつて、10番、以上があるというふうの説明を求めております。コメント回答60以上となります。
1:19:46	芝医師ありがとうございます。次のページの計算についても説明をお願いします。
1:19:53	はい。藤原子力そうならいいです。今回最後の中の19条とか集中昇格者の話ですが、まず整理、評価の方法としては、STACYで発生する中性子を計算して、その中性子がですね。
1:20:10	毎年にする1件の実験用ソウカ物にすべて調査されると仮定して、中性子脆化が目安の10の十九条を超えないかというのを確認してます。
1:20:21	次の評価結果のところですが、STACYでの最大積算出力からですね、発生する中性子数を求めると、8.4。
1:20:32	3掛け10、17条と集団発生引いております1070点で見ますと、ところがですね実験放火物。
1:20:40	表透明にですね照射されるということで表面積を出してますそれで計算すると、最終的に10-15乗程度で、4桁も低いので十分余裕があるという説明になります。以上です。規制庁です。佐橋須藤もありがとうございました。
1:20:59	そう画分総核分裂っていうのは、都心の真ん中の方とか端っこの方とかも関係なく全体で築く反応のすべてという理解でよろしいでしょうか。
1:21:11	練習的か暴きですその理解の通りです。はい、ありがとうございます。他にコメントが、質問、コメントありましたらお願いいたします。
1:21:22	規制庁の吉井ですけども、ですね何ページ8ページのところで、
1:21:32	日本に照射されたっていうことで、
1:21:39	最小試案の高さで、
1:21:42	直径0.6、0.95ですか、要するに表面積でやってますけど、
1:21:50	それって、いわゆる全部を照射する必要はないんですけど、そこで運用取ってるっていう。
1:22:02	いうゴトウで考えられてるっていうのは想像つくんですけど、これなんで表面、1本に照射してるのか。
1:22:12	成果っていう考え方而言えば、その中心部分が一番、
1:22:16	もう注射針率が高くなるんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:22	工夫。
1:22:28	こちらの方が、結果としては厳しくなるというふうに見えるのかどうかというのをちょっと確認したいんです。
1:22:35	野木主事喜田です。1本にするというのはいはご想像の通りですね保守的な評価にするためです。で、今、最後に三好さんがおっしゃられたのがこのピーティング給付のゴトウといたしますと、なかなかHuber委員でございます。私どももそれは考えましたけれども、4桁低い。
1:22:55	いうことでピーティング係数については考慮する必要はないかなと思っております。
1:23:04	そして、中心は例えば単位面積のところを考える。
1:23:10	中性子照射量というのは、
1:23:13	この
1:23:14	今出てる7ヶ月中の15条2品ケースを、
1:23:20	掛けた値になるっていう、ということなんですか。
1:23:24	原子力機構の飯田です。すいません。平均系譜とかいうよりも、すべての炉心全体のすべての中性子が1ヶ所のものに集まってしまうという仮定ですので、
1:23:38	ピーティングという考え方を上回っているかなと思います。
1:23:47	周辺方向は、そういう方向に関してはいっぺんに全部集まってしまうということですんで、
1:23:57	これより今、イトウ、要するに表面積をどう考えるか、その、
1:24:04	紛争なんて丸ちゆう性質をどう考えるかっていうのはそれに尽きるんですけど、ここで考えてるのは表面積っていうのは、
1:24:15	今日は何ですか。高さ40センチで1.1センチでも何か3回をかけてるから、なんか2、3センチの、
1:24:25	80平方数センチぐらいの。
1:24:29	もう、
1:24:31	調査される表面積っていうふうに考えてるわけですよ。
1:24:37	はい、おっしゃる通りですね。路線の中、中央でなくてもどこでもいいんですけども、一本の検層株が下がってましてそこに炉心で発生したすべての中性子が集中するという考え方です。
1:24:51	いやだからその炉心を全部っていうところですね、7人探ってるっていうのはわかるんだけど、いわゆる評価すべきは、一番。
1:25:03	中国のところ、単位。
1:25:06	面積当たりどのぐらいの照射量になるのかっていう。
1:25:13	ことだと思っんですよね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:16	ふげん出向の蘇武がそういう意味でまず、分子である中性子数は、もう炉心全体で発生した中性質です。
1:25:26	分母の小面積にしていますけれどもこれは小さければ小さいほど、集中して照射を受けることになるので、中央だろうが、どこだろうが1本を、
1:25:38	2、全部の中性子が集中したという仮定になっていますので、
1:25:46	その皆さんがご懸念されている中心の話とかそれから少年数、
1:25:56	的な本聞いたとか、そういったこともすべて包絡した上で、保守的に評価しているという、そういう整理なんですけれども、抽選数の方は、
1:26:08	大きいっていうのはわかるんですけど、表面積はこれ一旦40センチ掛ける必要があるんですか、小さいほうがいいわけですよ。スペースの場合は、
1:26:20	水位が140センチももちろんできるんですけども、
1:26:24	100円や40で小さい炉心をとってるのはわかるんですけど、高さ40センチっていうのをかける必要があるんですか。
1:26:33	要するに、この脆化の話なんだから、来面積当たり一番厳しいところでどのぐらいかかっていうのが直接的な評価になるはずで、
1:26:47	だと思えますよ。
1:26:51	だから一番小さい炉心で中心部分を、中性子密度が幾つになるかっていう。
1:27:00	ことが評価されれば、もうそれで答えが出るんじゃないかと思うんです。
1:27:08	全部のその発生するっていう、そういうことを1本で割るっていうのが、何か、どうしてそういう、それぞれ、
1:27:19	ちょっと直接的に見たい値じゃなくて、
1:27:22	割り算をしてるのかっていうところは、ちょっと理解できないんですけど。
1:27:28	最小の本数、最初本数を最小にしまして、表面的には、一番低い臨海水のいうことで40にしたものですけども。
1:27:42	これ、
1:27:44	4桁違うわけなんです今おっしゃったように、40を使うのをやめて、すべての中性子が特定の、
1:27:54	1平方センチメートル集中するとスタッフこれを三、四十倍に、
1:27:59	するわけで、17条ですね、まだまだ余裕はございますけれども、そういう評価に移します。何か50万がわかってるんだけど、なんでそこで、
1:28:15	高さ方向の赤井宇田っていうところがよくわからないってことです。高坂仲山氏。
1:28:23	正面の脆化っていうのは、どっかっていうよりは、これは平均的に1本出してるわけだよね。そこだけ見ると、何で平均なんだと。
1:28:37	その最大であれば、新津先生なんてもう関係なく、
1:28:45	そう思う。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:47	一番に行政にそれが全部ね、40 という考えなくてそれを単に閉合センチでは終わってしまえば、もうそれで、
1:28:57	順調と比較して小さければいいんじゃないかというふうに、それでも結構或いは 40 センチですと今おっしゃられたように平均ですね。そうしますとピーティングケースをかけるということで、ピーティング係数を掛けても高高側これ私が最初に申し上げたことですね備品費平均、
1:29:16	おっしゃられてるのはわかったと思います。40 センチ、歌うと平均の照射量であろうと、ピーティング系譜かけると、最も厳しいところの値が出るんだからそうしてはというお話で、
1:29:28	その時に遊佐CEOがね、これでも十分余裕があるんだけど、一応その最小炉心ということを考える。
1:29:37	伝授ん水方向には 43 にしてるけど、そこはね別にその 1 本に集中させなくても、例えば、
1:29:48	代表炉心が大なんかを見ると 30×30。
1:29:52	ぐらしかけて、高さ 40 ぐらいの炉心が一番小さい炉心になるのかな。
1:30:00	どうもちょっと理解してるんですけどね。
1:30:03	ですから、熔融炉心誤差を考えて、
1:30:06	現実的な炉心誤差考えて、その炉心の中で、中心の部分で、FLACSを見て、やれば、
1:30:18	何か多分これ渡すか小さくなると思うんだけど、結果としては、概算値なんだけども、
1:30:29	大エスティメートとしては、そういう直接的なことで、十分低い余裕があると説明してもらった方が数値としては、何か考えやすいなというふうに思ったんですけども。
1:30:43	減少傾向にございます極端な計算をしてもたないという結果が出ましたら私どももちろんモデルを変えて極端過ぎたらより現実的なモデルにしなきゃなということをやりますけれども、
1:30:55	極端な計算して、目安 4 桁低いという値が出ましたら、それ以上のことをする必要は生じないと考えております。従って、先ほどP係数の話出ましたけど、Pケースを合わせて数倍にして 3 桁か。
1:31:12	4 桁が 3 桁になるというような話で納得していただけるんですからちょっと普通に計算しまして参りますけれども、C、
1:31:21	ちょっと係数だけの話は当然、あれですけど、とか、だからこのぐらいですよ。極端な条件。
1:31:36	出します要するに私が言いたいのにね。はい。仕事は 1 本ということでそこでずっと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:46	赤井を大きくしてるんだと思いますけど。はい。
1:31:51	実際はそういうことじゃなくて一番中心のところの、
1:31:55	部分で、太平洋センチあたりの照射量を計算するのが、より直接的じゃないかという。
1:32:06	そういうコメントなんですよね。
1:32:09	本来エスティメートとしては水野家やっぱ極端な評価を最初にしまして、北野田中で、極端な評価をしても4桁低いといたら、持つんだなと。
1:32:22	ということではいかがですかね。極端な評価って言ったってこれ、要するに2、
1:32:31	100、100平方119.4平方センチメートルで終わるってこと自身これは非安全側の数字ですよ、はるばる方として。
1:32:43	もしくは、そうしますと平均係数を掛けてこれ平均値を出してますんで、P9分かけてその中の最も厳しい部分にするということで、当然
1:32:57	四家たが4桁のままかもしくは4桁が避けたんだ、そういう結果になると思いますけど、そういう結果をちょっとお出ししたいと思います。
1:33:06	経験係数という図接着方向のPKケースだけのことを私言ってるんじゃないんですよ。
1:33:13	清方向に関しては、一本にすべて集中するということで考慮されております。周方向については、紙でおっしゃる通り、縦方向の高さでAを使って面積で割っておりますんで。
1:33:29	垂直方向のピーキングケースは考慮されてますよね。それはなお数7分全部。
1:33:38	1点集中しちゃってるところで水平方向は考慮されてます。中心にあるものよりさらに極端です。数人の集計もそんなに極端にしますと、極端にして極端にしてもたないんだったらゆるめますけれども極端にして持つわけですので、
1:33:55	見えてないとそういう意味では、この119で終わるっていうところ違うんだけど、じゃあ提携経費をかけてさらにちょっと保守的な評価といたしまして値を出し直すということさせていただきたいと思いますし、承知いたしました。
1:34:14	はい。規制庁倉庫です。他によろしいでしょうか。
1:34:18	あとちょっと全体的なところでちょっと前に戻っちゃうんですけど1点いいですかねちょっとこれ質問。
1:34:26	はい何ページでしょうか。質疑。
1:34:29	最初の。
1:34:36	見え、
1:34:39	3ページですか、ページで、
1:34:43	コメント回答No. 2ということでこれは、
1:34:46	回答のナンバー1と合わせるっていうことを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:50	だったと思うんですけど、この 3 ページの、
1:34:55	最後に、この給水流量計確定値を超えてないってところで、
1:35:04	使う、
1:35:05	反応度添加率 3%ばsecまたは、
1:35:10	初心タンク水上昇速度一面に/secにいるところでこの清 1 名/secっていうものがこれはあれですか。
1:35:23	高速の給水のところを行ってるってことです。これは継続ですね。はい計測嚙下をして、臨界を超えて反応度を低下する時の話をしておりますので、
1:35:38	不低速の方ですが、
1:35:43	定食の方で、スジメリバース
1:35:50	これまたはってこう書いてあるところがこれでいいのかなと思って、できなかったんです。
1:35:57	岩谷規制庁シブヤですけどこれは値二つの値のうちの小さいほうをとるということですか。
1:36:04	おける通りです。原子力協議会でおっしゃる通りですセンター長総会ということでお願いします。承知いたしました。委員そういう意味なんですよ。審査移行されます。この後、書記伊井。
1:36:17	鷺見マネージャないかということと思います。
1:36:20	そこは修正してるんで、結構です。はい、承知いたしました。修正して徹底した補正に入れたいと思います。
1:36:32	はい。
1:36:33	じゃあ次は 9 ページでよろしいですか。はい、じゃあコメントならばお願いします。
1:36:39	伴原子力機構のケースコメント 7 番についてですが、こちらを、第 2 編デブリ炉心の技術基準 22 条に関する、説明ですね、今回 22 条説明不要としています。その理由は以下の点線のところですね。
1:36:54	今回申請するのは炉心であってそれに組み込まれる、棒状燃料は格子盤等、そういうものはですねすべて、それぞれの設工認の方で適合性確認しているため、
1:37:06	今回は実績不要としております。以上です。
1:37:09	はい。規制として浦部さんありがとうございました。2 件以上例かと思っておりますので、いわゆる丸バツ表の全体を××理由を見直してくださいというそういう理解でよろしいでしょうか。
1:37:24	停職 1 個あるわけですはいその通りです。丸バツ表のバツのところは利用すべて入れます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:31	わかりました。特にですね、日本の椎野ソノさんの方で見た町として、今回ないところっていうのは、やっぱり皆さん苦勞していないんだろかなって強く気にされるところですので、権限な記述をお願いします。
1:37:48	はい。他にご質問コメントございますでしょうか。
1:37:54	はい、じゃあ実績、8 番 10 ページお願いします。
1:38:00	原子力機関は新垣です。コメント 8 についてですが質問としては、機械色、燃料飼料挿入管のですね核分裂生成物気体の分圧が、
1:38:12	静水頭 2.0 メートルより十分低いことを定量的に説明する工事ということで、今回、設置許可ですね設計基準事項で棒状原料に十分保持破損というものを想定してましてその対応についてですね。
1:38:28	どの程度移流資料挿入間の圧力、気圧による圧力を発生するかという評価を行いました。
1:38:36	その評価結果は、2 ポツ評価結果の②のところですね、今回は、
1:38:42	燃料史料挿入管理理想定される圧力は 4.97×10 のマイナス 20%とか、なりました。これはですね静水頭にて 0 メートルは 2×10^{-4} 蒸発缶なので、
1:38:55	比較せんとなつてたほど低いので燃料飼料挿入間の閉じ込め機能には影響を及ぼさないと。
1:39:01	まとめております。回答が以上となります。
1:39:06	はい。規制庁渋谷です。ちょっと評価方向かわかんなかったんですけども。
1:39:13	棒状燃料に雑草に入ってる浦野両統一線の燃料仕様挿入管に入れるペレットの裏の量が、同じってことなんですか。
1:39:26	製品等、まずあれですね棒状燃料 20 本破損した場合に 8 創出される希ガスが評価されてます。
1:39:36	総放出量があり、その舗装膨出量を 1 本に集約して、それがですね、年輪量資料挿入管のペレットと被覆管のギャップにですねそこに今、
1:39:49	出てくると、そういうモデルで、計算してます。
1:39:56	棒状燃料 20 本の方の、
1:40:00	各分別生成物の方が、一本の燃料挿入管で発生するであろう、その希ガスの全量よりも下主流分を、かなり多い量。
1:40:12	を入れてるってことなのか大体同じぐらいの量を入れて欲しい。
1:40:18	はい、原子力機構の新垣です。1 本に対して言えば 20 倍ですね。そうですか。はい。以上です。本の裏の表と、
1:40:30	燃料使用されてるという量は大体同じってこういうことですか。
1:40:35	減少傾向にあるわけです。まず、燃料試料挿入管に入れるものなんですけどこれはデブリ模擬体と言われてまして、ウランとかコンクリートとか、雑とかですねそういう

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ものをまぜたものなので、棒状燃料のウラン量と比べれば、営業資料挿入課の方が少ないです。
1:40:52	はい。東発生量一本釣り比べたらさ、免状純層入荷のが少ないってことですか。
1:41:00	演習機構あるわけですはいその理解の通りです。その情報がどっかに入りますね。
1:41:06	触れないとわかんない。何を比べたのかわかんないです。
1:41:09	はい、原子力機構青木で承知しましたその情報をですね盛り込みたいと思います。はい。終わります。
1:41:19	ちょっとふと思ったんですけどこのペレットってこう交換したりするんですよね。
1:41:28	はい。所長井田です。はい。入れ替えたりいたします。そうですね。
1:41:33	役会作業の時は蓋開けるから結局出てくんですよね。気ができます。ちょっと出て来ます。青井助教井田です。はい、おっしゃる通りです。
1:41:44	ただ、いつわ一中から外への閉じ込め機能を期待してないってことですか。どうせ開けるんだからね。
1:41:53	減少機構イザワなくそれわー。
1:41:56	通常露出の中で、ぱっと開けるようなことは想定されておりませんで、会議するのはグローブボックス等のそういう電気が制御されたところで開けます。そこであけ出てきたものに関しては喜多技術処理設備を経由して外に出ていくことになりますので、
1:42:13	事故で壊れてしまったというようなところはちょっと違う。そこが違うところです。作業員の方が吸い込んだりとかそういうことはないってことです。
1:42:23	はい。そうですね減少協議会、おっしゃる通りです。
1:42:26	わかりました。
1:42:28	じゃあボーリングを交換するっていうことんなってるので、簡単にパコッかけて刺さっと変えられるかと思ってたんですけど、そういう作業はグローブボックス用のグローブボックスの中で行うんですね。
1:42:44	はい印象聞こえたです。はい、おっしゃる通りです。わかりました。何か今初めて知った気がするんですけど。
1:42:52	その情報はどっかに入れれば大丈夫かな。
1:42:55	原子力はそうですが、その辺は核燃料使用許可の方で。なるほど。何だっけ。南條武。
1:43:06	機能維持のところ、ちょっとやっぱりボーリングの交換の話があるんです。そこに、
1:43:16	ちょこっと開局いただいた方がいいかなと思うんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:21	はい。20 ページからです。許可の区分が違いますけど核燃料使用の少量核燃料の使用の許可に沿って、
1:43:33	はい適切な分、それが解決するというようなことがわかるように、はい。外観検査はもうぱっと手に取ってやる、やればいいんですよね。
1:43:43	おっしゃる通りです。そうですね。しょうがない答えており、例えば、中身とかボーリング交換設備はグローブボックスかかっていますよね。
1:43:53	はい、わかりました。はいそれではそれが当該条文の周りで読めるようにしてください。お願いします。
1:44:00	はい、わかりました。
1:44:03	はい。他にございますでしょうか。
1:44:13	はい、じゃあ次、ナンバー91 ページお願いします。はい、原子力機構の青木です。コメントNo. 9 についてです。こちら技術基準 38 条の 4 号の説明で、周辺の環境状況をもとにご質疑の内のみと限定していることについてですね。
1:44:32	前回のヒアリングで議論させていただきました。その時にまたありましたのが、放射線についての記載がないということですね今回放射線に関する記載を追加して持って参りました。
1:44:44	県さん。
1:44:46	その中の中段ですね、なお書き以降のところですがね、今回、放射性物質放射線に関して考えなきゃいけない。
1:44:55	なければならぬのが補飲料資料挿入会になってますと燃料試料挿入緩和ですね先ほども密封制度とか説明してきましたが、す。
1:45:07	達成する金額を想定した時にですね、のつけたほど低い圧力しか発生しないための破損をしないということで、まず、通常の運転時を考えた時にはですね燃料試料挿入管の中からですね放射性物質が飛び出すような、
1:45:23	こと、そういうのは想定されてませんで、最後のところ上記の監視量に有意な変化を恐れはないということですね。
1:45:32	ステージ資料運転中にですね中性子束密度とか、温度推移とか、そういうものを監視していますが、それに関する有意な変化というものを、起こそうそれはありませんという説明を追加しております。
1:45:45	回答以上になります。
1:45:46	はい、規制庁シブヤですご説明ありがとうございました。
1:45:50	何かご指摘があればお願いします。
1:45:59	干場ですけども、要するに、監視は発生する設備はあるけれども、仮に、
1:46:10	漏れたとしても、その針が増えるほど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:16	量にはならないという現状と合わせて説明いただいたと、そういう理解でよろしいですか。
1:46:23	兵庫となるわけです。はい。その理解の通りです。はい、承知しました。他に何かありますでしょうか。
1:46:32	はい。では次は、10 ページ、12、ごめんなさい、12 ページのナンバー資料お願いします。
1:46:39	はい原子力機構なるわけですコメント 9 に、これ 10 ですね、10 につきましては内挿管についてですね審査会合資料等で説明をしましたが、その他について説明する必要がないのかということで、
1:46:54	下の検証のところですね、こちらの内藤管野ソノ。
1:47:00	今日説明のところから抜粋してます。
1:47:04	なお書きのところです。なお、
1:47:07	大内挿管以外の実験ソウカ物今回燃料資料挿入関東デブリ構造材模擬体がありますが、それらは内挿管の上部が開放されているのに対して、密封構造もしくは稠密であるため、
1:47:19	申請を肯定する必要はないということで、今回、上部開放の内装管だけを見ておけばいいというふうに説明を追加して補正いたします。以上です。
1:47:29	はい。規制庁渋谷です。ご説明ありがとうございました。
1:47:33	私、実は今まで名称間の浸水というのを、大相関が、
1:47:40	嘘みたい。薄井。
1:47:42	肝なので、そ、どっか破れて、そこから水が入ってくるなと思ってたんすけど、これは上からっていうそういうことだったって理解でよろしいでしょうか。
1:47:52	文章動きがあるわけです。はい。その通りです今回制作するもので、上部が開放されているものはこの内装間だけです残りのものはキャップがされてますので、その違いがあります。
1:48:04	はいわかりました。
1:48:06	ちなみに上から水が入るってというのは、何か想定してるものがあるんでしょうかなんか上から水が漏れてくるとか何かあるんでしょうか。原子力機構の伊田です。通常運転でそれが起こるということは想定しておりません。ただやはり上があいている設計上描いているものですので、
1:48:25	それを想定して殊備えるという趣旨でございます。それではわかりません。わかりました。
1:48:32	斜面なんか地震で揺れたときに、スロッシングで何か波が入るとかそういうことはあるんでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:39	検証機構伊賀です。おそらく、そう、そこまで揺れる前にも排水弁があいてしまいますので現実的にそれは起きないかなと考えます。今のことわかりました。
1:48:51	何か実際の運用としては何かちょっと簡単なプラスチックにちゃんと被せたりとかそういうのはあったりするんでしょうか。原子力機構でございます。はい。これ水が入ると反応度配布いるなという時には中に詰め物をしてしまったりですね。はい。そのような運用をするということは考えております。
1:49:10	はい、わかりました。他に質問コメントあればお願いします。
1:49:15	三好ですけども、この最後の日当構造もしくは、
1:49:21	稠密であるためってこの中にちょっとどういう意味で使われてるんですか。はい白土伊奈です。英語では電通といいますか仲が詰まっている、実施しているという意味で具体的には鉄道デブリ構造体みたいなことを指しております。
1:49:38	んだからそうすると、これは特に間の中に封じ込めるとかそういうことではなくて、
1:49:51	そのものが、
1:49:54	2 検層貨物としてあるっていうそういうことですか。おっしゃる通りです内部構造等は、肉チェックとかなくて中が三つも片方がまっすぐ詰まってるものがあると。そういう意味です。それで被覆管何時これこれについては、
1:50:11	隣接校以外です。今日説明を荻田については私服等はなく、まさに羽田野徹の⑤、⑥金水そういうことを言ってるということです。はい。齊藤です。はい、わかりました。
1:50:27	はい。規制とステップはですけど、燃料所総務課については
1:50:35	なんすかね。何テストでしたっけ、あの試験も行ってると思うんですけども。
1:50:42	それを帰っていただけますかね。この点線の中に、
1:50:47	さらにA+密封の試験を範囲となってくる明瞭資料挿入管は、この脱着式ですので、正確なタイプの確認を行うといったようなことを記載します。はい。はい。
1:51:02	はい。編集局伊田です。それでは燃料試料挿入管については密封の検査を行うということを記載したいと思います。はい。
1:51:14	他に何かございますでしょうか。
1:51:18	よろしいですか。意見のところですよ。もしくは、稠密って書いてあるのは、この、
1:51:26	ここで言うと、鉄だけだっという、コンクリートの方は、これはあるように理解んですけど。
1:51:37	当社の鬼頭伊賀です。はいおっしゃる通りです。今回の制作するものの中で稠密なのは鉄だけでしてコンクリートに関しては被覆管でございます。
1:51:53	1 個ずつ説明して説明を書いてもらえますか。新保委員ちょっと判断時間は何々いけん。はい。各実験報告についてどれがどうというのをちょっとばらして書かせていただくように、ちょっと機会変更いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:14	はい。他いかがでしょうか。
1:52:19	はい。では次、13 ページのNo.11 をお願いします。電子振り込ませコメント 11 につきまして、こちらご希望 23 条の 9 号ですね品質管理に関する要求事項があります。これとの紐付けが、運用見なかったと。
1:52:37	ということで、今後、電線膜の中の下線のところですね、炉規法を入れて、それに、
1:52:46	基準として定められたということで、そこで紐づけをして、今回のQST点が炉規法に基づいているものだという説明をします。以上です。
1:52:58	はい、ありがとうございます。何かコメントございますでしょうか。
1:53:06	はい。では次、14 ページのNo.12 をお願いいたします。
1:53:12	はい、原子力機構の青木ですコメント 12 については今回ですね実験用貨物について一部使用承認を受けるというのを審査会合の中でも説明させていただきました。
1:53:24	それに関してですね工事工程表では、それが読めなかったのが、今回、右下の注記 2 というところですね。
1:53:32	一部使用承認を受けて使うとかあと最後は使用前確認を受けて使うというのをですねそれぞれものごとにせえて、記載を追加して補正いたします。以上です。
1:53:46	はい千葉です。ご説明ありがとうございました。
1:53:49	一部主要商品があるってということで検査の方から、
1:53:55	この表から、その工事が二期に分かれることを、読み取れますかっていうことを、聞かれた際にこれで説明できるということで理解をしました。
1:54:08	ちなみに、コンクリート棒ができ上がってから何か実際に水分量が何%に仕上げ佐賀なんか警察するとか聞いたような気がしますけどそれがこの表の中に含まれてますか。
1:54:21	はい、原子力機構があるわけです。左の工事工程表のコンクリートのところですねCポツのデブリ構造材向いたコンクリートのところに線が引いてありますが、それと材料検査、
1:54:36	中にコンクリートの水分量とかは確認します。
1:54:40	はい。この令和 5 年度の、12 のあたりがある下請けを三角材っていうのがそれだっということですね。
1:54:49	そうです。すいません。その右ですね右、
1:54:54	右下のちょっと上、浮き上がって誰になってるんですか。鶴沢菊川深見であります。これか、これなんでちょっと伺ってるんですよこれ。
1:55:07	やっぱり下に入れるとですね左の寸等、右の材が、これセットなんですね、ペレットの寸法とペレットの材料です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:18	同じ列に格闘ちよっとうかぶっちゃうところがありましたので、水発生は書いてます。確かに剤の方、二つ目の剤は下にずらしても、かぶらないので、そこで下にずらす分にはいいんですけど左側の分がですね、ちょっと前とかぶってしまうので、
1:55:37	間瀬が何かわかりますか。はい、じゃあそこだけ直しますかね。はい。
1:55:43	よろしいでしょうか。
1:55:47	よろしいですか。
1:55:51	はい。じゃあ次、15 ページ、13 番、お願いします。
1:55:57	東矢吹古川脇です。コメントさ、13 番についてはですね、道路申告制の範囲、これ許可で示しているものがありますその範囲を逸脱する場合を構成しないことを明記するというので、
1:56:11	技術基準 10 条の 1 項のところですね、もともと下も布施学園の文章がありましたはその真ん中にですねこのような、下線部の一部を入れたいと思います。評価の結果誤診特性の範囲を逸脱する場合は、
1:56:26	当該委員会炉心を構成してはならない炉心とし起立し、炉心構成範囲外とするということですが、これを低下して補正いたします。以上です。
1:56:36	はい。ご説明ありがとうございました。何か質問、コメントありましたらお願いします。
1:56:48	全体を通してでも結構ですので、何か質問、コメントがあったらお願いいたします。はい。
1:57:00	乳井ですけどちょっと疑問なんですけど。
1:57:09	何ページですか。
1:57:11	工事工程表がさっきありましたけど、このコンクリートのところでちょっとフォローできなかつたんですけど、ちょっと模擬体で、
1:57:26	猪狩を先方でありますけど、この最初の材料っていうのは、
1:57:33	これはいわゆる、コンクリートを作る上でも、それぞれの、
1:57:39	モルタルとか何だとかそういったものの、
1:57:44	寄付の受領だとかそのまず前の時の材料を検査するっていう、この最初材はですね、PHITSとか入れるための被覆管。
1:57:59	とか、下部単線上部単線とかそういう容器の材料が 4 時、いろいろ本体の方、どこで、6 月を二つ目の材。
1:58:10	これは、この材料というのはどういう形での検査をするんですか。これを、ペレットの製作したものに關する材料の証明書ですねそちらをもって、
1:58:24	チームとかですね、そういうのを確認します。
1:58:27	特定その他本部内は水分量とか、
1:58:31	ここで測定をするということですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:34	ほぼ、ここが成分量とかの測定の方法検査になります。
1:58:40	それをしてから、増えるということになるんですか。
1:58:44	はい、そうです 6 月以降にそれを詰めて最後外観先方とかを行います。うん。いうことですか。
1:58:51	ふうん。
1:58:55	そうすつこの材料、6 月のところに書いてある材料というのができた合議体の、水分を含めた、
1:59:04	材料検査だと。
1:59:06	原子力機構の決裁その通りです。この 6 月の材料検査ができたペレットの、水分量とか副確認する検査ですツールを作る前のその素材等支援。
1:59:19	計算っていうのは特にやらないってことなんですか。でき上がったもので。
1:59:24	やるということで、原子力機構の新垣です。はい。今回ですねペレットについてはペレットを入手するところから工事をスタートさせるようにしております。
1:59:38	29 台です。従って 6 月のところで
1:59:42	検査すればすべて確認できるという形にしております。要するにここで製品としての検層 5 月のところでやってそれで、あとは充填するってそういう、
1:59:54	工程だと考えていいですか。はい。いわゆるご理解の通りです。わかりました。
2:00:04	ほかにいかがでしょうか。
2:00:08	1 じゃ、植木瀬戸シブヤですけども、あともとのこの 11 月 8 日の申請書を見ていて、
2:00:19	ちょっと違和感を覚えるのはですね、ああいうスクラブっていう看護が多分 1 回も登場しないんですね。
2:00:28	今回ナンバー 2 のコメントも申請の方に盛り込んでいただけるとのこと、こゝんなってようやくインターロックとかですね、スクラムという言葉は、
2:00:40	出てきたので、概ね解消されるかと思えますけど、やっぱりこの啓原子炉の審査をしていて、
2:00:48	裏面の話を前提に出てこないというのもですね、強い違和感がありますので、その辺見直しをお願いしたいと思います。
2:00:58	9 月第 40 条のところに先ほど文書を拡充するところに膨らむのことも書かせていただくと、いうことにしたいと思います。お願いしますあともう一つですね。
2:01:11	松波の話では解析結果いっぱいあるんですけども、ただですね見て読んでとですね、ボロンとの絡みですか、あまり出てこないんですね。別にと討論に限った話じゃなくて、
2:01:26	これの案が全然関係ない一般的な話だと思うので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:30	ちょっとそこでもすね、全体的な見直しで、適当な場所にすね、記載をお願いしたいと思います。
2:01:42	はい。原子力戸井田です。はい。基本的には、物を入れるために通常よりも、過剰な反応物にした時に、
2:01:55	さらに考慮が必要ということになりますんではい、おっしゃる通り頃にする限ったことではありません。
2:02:03	技術的な理由があるっていうのは理解しましたが、教育も含めて一般的には、
2:02:12	津波が到達しないわけですけども、許可も含めて、一般的な連絡かと思しますので、それを配慮をお願いしたいですか。
2:02:24	はい。よろしくお願ひいたします。比嘉です。それは順調ということで、大城理事、バス送迎はそうですね結局は一番安全番として、
2:02:35	部長院長ですので、その辺に入るのかなという感じはいたしますね。
2:02:40	はい。仮に完成したとしても、ちゃんと困りますっていうことですね。
2:02:47	はい。大石布田です。はい。認定してはいけない土地を寄付するといったようなところに、交付なっておりますんで、そのところで津波の考慮も用に見えるようにというふうなちょっと考えたいと思います。
2:03:03	はい。はい。お願いします。はい。
2:03:06	他に何かありますでしょうか。
2:03:11	はい、じゃあとりあえず質疑応答はこんなところですけども、木村さんから聞いてるのは、明日補正を発送しようかなっていうようなことを1回聞いておりますけども、その辺はまだ、
2:03:28	今日ございますはいおりの通り明日には発送できるようにと考えておりましたが本日けっこう修正といえますか文章を書き多数ご注文いただきましたので、
2:03:43	明日ちょっと厳しいなところですね。
2:03:47	決算は早くて月曜日ということになるかと思ひます。ただ、もう一度ご確認されますか。本日私共です。それはそっちが決めてくださいという感じですね。
2:04:00	はい。石倉石松です。はい。では設定しますし、さんにも必要に応じてますけど、どうしますか。
2:04:14	小規模イザワです。私どもとしては今回丁寧にコメントいただきましたので、それを反映して来週にはもうお出ししたいと思ひます。
2:04:25	はい。今のコメントについて規制庁側から何かありますでしょうか。
2:04:32	よろしいですか。
2:04:37	大地大瀬責任者。
2:04:41	こういふことで、
2:04:44	聞いてしまう。山川さん、昨日、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:05	地区、
2:07:35	あ、規制庁シブヤですけども。
2:07:38	補正を出すんだったら出してもいいけども、さっき藤堂の一番最初にあってですね、事務長の、
2:07:46	要求事項に対するテッキ
2:07:52	適合性の説明について、
2:07:55	まるで若生間単純に患者さんが、こういうふうにおっしゃったから、性に合わせて直しましたとかって。
2:08:04	ということで、これまでの基本同士を含めて考え方の一貫性しか運営見られない場合は、審査会合になる。
2:08:16	事がありますので、ヒアリングは多分もう1回やったほうがええと、
2:08:22	荒川さんのコメントです。それを踏まえて、
2:08:29	どっちにするかっていうのは、
2:08:34	決めていただければいいと思うんですけども、担当者としても、
2:08:38	ヒアリングをやった方がいいのではないかなという気はいたします。
2:08:43	はい。西平です。そうですね。はい。
2:08:49	なるべく早くお出ししたいとは思いますが、私ども第3回のロジック変えるつもりも毛頭ございませんので、思想に沿って、相手じゃちょっと一度逆に聞く、原子力のソノですが。
2:09:06	先ほどの議論を踏まえてですね、実際すべき趣旨は理解したつもりでおりますので、
2:09:19	その内容で記載の方はしたいと思っています。はい。
2:09:26	なので、うん。
2:09:28	やりになるまでは今、時間決めることもできますけど、どうしましょうか。
2:09:36	日を改めて、相談室はご存知ですか。いらっしゃいますか。どうぞ。取ってやっちゃった方がいいです。早めの時間を抑えられますけど大丈夫ですか。
2:09:47	少し挙手で。
2:09:50	準備してからってことだよ。
2:09:52	いやちょっとお待ちいただいていますか。はい。
2:11:15	はい原子炉平です。はい。私ども、第3回の趣旨を変えないというのは重々理解しておりますのでその方針でちょっと負荷減って、出させていただきたいかなと思います。
2:11:31	よろしいですか。
2:11:33	私どもそういった会合にはならないように、きちんと第3回のロジックとして書きたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:42	うん。技術原子力機構の宗ですが、基本的にそこは何も今回、デブリ模擬炉心でも変わってるところではありませんので、基本方針の考え方。
2:11:55	それに
2:11:57	沿ってですね、説明できるように記載して、補正したいと思っています。
2:12:06	なので、もうその内容をですね、ご確認いただく必要もないのではないかと考えております。
2:12:19	日置です。
2:12:26	はい、じゃあ、本日のヒアリングはここまでいたします。はい、ありがとうございます。ありがとうございました。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。